

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価者版(2016年版、名古屋建築環境総合性能評価システムマニュアル2016) ■使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プレサンスロジェ守山駅前	階数	地上14F
建設地	名古屋市守山区守山一丁目707番	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	140 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2021年11月1日
敷地面積	624 m ²	作成者	
建築面積	335 m ²	確認日	2021年11月1日
延床面積	3,024 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.0

★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C:★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 60%:☆☆☆☆

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 95%
③上記+②以外の 95%
④上記+オフサイト手法 95%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア=3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア=3.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア=2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア=3.7

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア=2.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア=2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	防犯面、環境面に配慮したつくりとなっている。	その他 なし。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆を使用し、汚染物質発生に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 防犯カメラを設置し、防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	住宅性能評価基準の断熱等性能等級の等級3相当を確保している。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐輪・駐車スペースを確保している。
Q2 サービス性能	部品部材の耐年数が十分な精度が確保されている。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材の使用に心がけている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

重点項目スコア・結果シート

プレサンスロジェ守山駅前

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.4
LR1	エネルギー	3.7	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.1	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				1.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会				2.9
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.4



2. 自然共生

評価点 = 1.9



3. 循環型社会

評価点 = 2.9



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。